



定住者交流会の様子

**議員**  
町長 定住対策事業の効果と推進策は、町では、20年度に定住促進事業を創設し、移住者に提供可能な土



すずき 鈴木 満 議員

**問** わが町の新たな雇用対策は、管内の市町村では、新規雇用対策を公表しているが、わが町の新規雇用対策は、

**答** 地37箇所を町民から登録いただいています。昨年度は若者定住奨励金を1世帯に交付し、現在、年度内交付に向けて数世帯と調整を進めています。町で把握している本年度の移住者は、2月末現在で6世帯14人。19年からの3年間で、12世帯26人となっております。着実に実績は上がっています。人口減少の歯止めのほか、地域コミュニティ・学校の維持につながるものであり、今後も移住・定住しやすい環境整備を進め、より効果的な施策を検討していきます。

**問** 住宅改修助成事業の考えは、新規住宅着工が著しく減少して、長年住んだ家をリフォームする人が増えているが、助成事業の考えは、

**答** 若者など雇用対策に取り組む 本町では新規高校卒業者に限定しないで、30歳未満の方の町内における雇用を支援し、定住人口の拡大を図ることを目的に、新規雇用した町内事業所に対し奨励金を交付する制度を新設します。さらに60歳以上の方の就労機会を拡大するため、短時間雇用する際の賃金の一部を雇用主に交付する「高齢者雇用促進事業」を新設し、町内経済の活性化と雇用機会の拡大を図っていきます。



助成事業を活用して快適な住宅に改修した三好さん（小屋瀬）

**答** 現在ある助成事業の活用を 本町では町産材利用住宅支援事業、木造住宅耐震改修工事助成事業、高齢者等にやさしい住まいづくり推進事業の3つの助成制度があり、当面は現行制度の活用をお願いいたします。

**問** 定住対策の効果は、  
**答** 着実に実績は上がっている

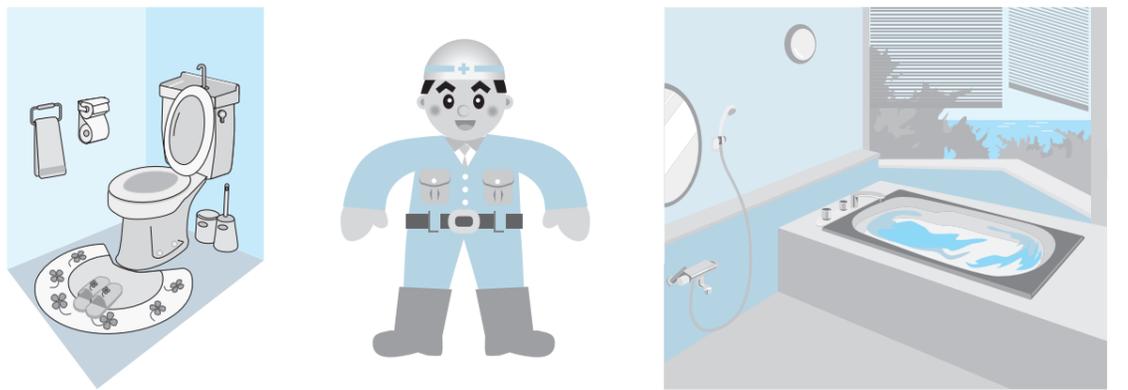


**特別会計**  
施設改修と利用者減  
財政運営は健全か  
建設  
水道

**問** 簡易水道事業会計 利用者の減少に伴い毎年利用料が減少し、さらには多額の施設改修で財政運営が心配されるがどのように考えているか。  
**答** 使用料の減少、特にも給水人口の減少は憂慮しています。これらは水道料金の値上げにもつながることから、総合的に課題の解決策を考えていきます。

**農業集落排水事業特別会計**  
現在の農集排加入率を  
どう分析しているか  
建設  
水道

**問** 農業集落排水施設の使用率は70割程度ですが、この率をどう分析しているか。  
**答** 葛巻地区、四日市地区ともに60割強の水洗化率で、低い状況にあると認識しています。しかしながら、公共井を設置しているものの、水洗化されていない方が30割程おりますので引き続き努力していきます。



賛成討論  
長柳敬一  
要約

わたしは、22年度一般会計予算及び6件の特別会計予算について賛成し討論します。22年度一般会計予算案を見ると、これまでになく雇用機会確保のための予算が措置されています。民生分野では、認定こども園の開設と保育料の引き下げ、子ども手当支給、高齢者世帯等の生活環境支援など、子どもからお年寄りまで、手厚く予算措置がされています。また、産業振興面を始め、教育、消防など各分野にわたり新規事業の創設や既存事業の拡充が計画されています。また、投資的経費では町道6路線の整備を始め、繰越事業となる葛巻小学校屋内運動場や情報通信基盤施設の整備、その他経済対策、きめ細かな臨時交付金等を活用した住民生活に直結する多くの事業が平成22年度に執行されるもので、町内経済への波及効果に大いに期待



町の健全経営で次世代の子どもたちへ夢を手渡し

待できます。その一方で財政面では、起債の抑制と基金の造成に努めるとともに、限られた財源の有効活用が図られ、財政運営の健全化に十分な配慮がなされた予算であると認められます。また、特別会計では、病院事業会計は厳しい経営状況が長く続いておりましたが、一般会計からの健全化対策等の繰り入れ拡大により、より大きく改善方向に向っております。なお、各会計とも独立採算の観点から一層の健全経営を切望します。